

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	町、学校主催の行事には参加するよう外出の計画を立て実施している。買い物には町へ出かけ住民とも出会う機会を作っている。	○	地域のボランティアの方にホーム内へ訪問して頂き、なじみの関係を作っていきたい。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	メンバーとチーム・ケアの大切さを話し合い実践できるよう協力体制を作る努力をしている。	○	まず、利用者に今何をすべきかを考える事から実施し理念の共有を達成できるよう努力していきたい。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切に理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	地域へは行事参加などの折、理解を呼びかけ、家族には面会時・連絡時・通信を通じ段々と理解して頂いている。	○	地域へはボランティアを通じ広く呼びかけ、家族へは家族会・通信の充実によってホームとの関わりを充実させる事で努力していきたい。
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	隣近所が離れている為少ない。	○	ボランティアとの関わりを充実させ発信していく。近所への散歩を実施し立ち話などを通して隣近所な方々にホームを理解して頂けるよう努力していきたい。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	行事、地域活動への参加は活発である。	○	出かけられる利用者は決まってしまう残念である。出て行くことも大切だがホーム内に来て頂く努力をしていきたい。

介護センターななすぎ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>6</p> <p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>デイサービスとの関わりがあり地域の家で暮らす方との楽しい交流も実施している。</p>	○	<p>ホームとしてできる事がありホームの利用者の為になる事であればできる努力をしていきたい。</p>
<p>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</p>			
<p>7</p> <p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>評価の意義の理解は十分な研修が必要かと思われる。今回の実施によってその評価を活かせる様、指導はしている。</p>	○	<p>今回の評価から何を学ばなければいけないかは、後日ミーティングを行い投げかけていきたい。</p>
<p>8</p> <p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>毎回全員参加で実施しており活発に意見が出て、チーム・ケアに向け良い会議となっている。</p>	○	<p>会議の開き方の検討をして、回数を増やし意見交換が出来るようにしていきたい。</p>
<p>9</p> <p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>会議開催日には必ず出席している。</p>	○	<p>連携の充実に努力したい。</p>
<p>10</p> <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>管理者は学ぶ機会があるけれど、スタッフはホーム内での研修がない為理解できない人もいる。</p>	○	<p>研修を受ける機会を設け適切な支援が出来るように準備していきたい。</p>
<p>11</p> <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>全員が学ぶ機会が無いので十分な理解ができていない心配はある。しかし、虐待に関しては注意を払い話し合う機会を作り防止に努めている。</p>	○	<p>研修に参加し、十分な理解をしていきたい。</p>

介護センターななすぎ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	行っている。	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	利用者の意見を十分に聞こうという姿勢で日々関わる努力をしている。	○ 利用者が意見を言うことの出来る環境を作っていきたい。
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	家族通信を通して、面会時には必ず話しかけ実施している。	○ 家族通信を充実させて関わりの少ない家族へ働きかけたい。
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	面会時こちらから関わり様子を伺うようにしている。こちらの関わり方できちんと発信して頂けると思っている。	○ 情報があったら即対応し、不満解決し決して再発しないようにしていきたい。
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	ミーティングを通し意見の集約をしている。スタッフ間の話し合いで反映させている。	○ 意見を出しやすい環境作りをしていきたい。

介護センターななすぎ

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	一ヶ月の計画を中心に、勤務調整を行い利用者に不自由を与えないよう努めている。	○	日中の勤務体制の充実を図りたい。
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者へのダメージには充分注意を払い、スタッフにも十分な協力を依頼し実施している。	○	馴染みの関係を中断する事ないように配慮していきたい。
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修依頼の書面を社内回覧し、個人の介護意識を高めると共に認識の向上を目指している。	○	今まで通り意識向上を目指し、研修に参加できるよう努めていきたい。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	町の包括支援センターを通じ、他の事業所との意見交換を行なっている。	○	今の現状を維持し、今後は他の事業所との交流を密にする為、職員の行き来を考えていきたい。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	勤務状況の把握をすることにより利用者利用者者に不自由を与えない事で支援ができて	○	他の事業所との交流も深めていきたい。

介護センターななすぎ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	研修又は情報を得ることで新しい空気が少しでも支援に繋がるよう努力している。メリハリのある一日を利用者と共に大切にしている。	○	研修で得た情報をスタッフ間で共有できるようにしたい。
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23 ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	本人が納得できる入居が基本的には良い事であるので、その時期の関わりも大切にしていきたい。	○	一度に生活を移動してしまうのではなく、本人の希望に合わせた移動方法を検討していきたい。
24 ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族の思いを聴けるよう努力している。	○	今以上に入居前の家族との良い関係を築く事に努力していきたい。
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ボランティアの利用位であるが、希望に応じるよう努力している。デイサービスへの利用は安易である。	○	家族との話し合いで、本人の希望に添った満足のできる生活ができるよう努力していきたい。
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家族の希望が優先され、難しいこともある。	○	認知症の方に納得して頂くのは難問ではあるが、安心して暮らす為には大切な事なので、家族・本人と工夫しながら実施していきたい。

介護センターななすぎ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者を一人の人間と認め長い間の経験をここで再び活かしてもらい、生きてゆく力としてもらえるよう関わっている。	○	「支えあう関係」をもっと作り上げるよう努力していきたい。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族の関わりは不十分な方も居られるが、関わっていただけるよう努力はしている。	○	通信を通して一緒に本人を支えていく関係を作り始め、面会・連絡等を通して共に協力し合える環境作りをしていきたい。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	今までの家族関係を理解しより良い関係作りに努力している。	○	多く関わって頂けるよう努力していきたい。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居以前の関係に充分注目し、理解し本人にとって良いと思われる支援方法を探り実施している。	○	面会や外出を通して関わっていけるよう努力していきたい。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	「家族のような」を大切にして「仲良く」を支援できるよう努めている。	○	「皆で何かをする」事も大切にして仲間仲間仲良く楽しみ事をする努力をしていきたい。

介護センターななすぎ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	○	まず希望を発する事ができる環境をつくるようにしたい。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	○	たくさんの情報を集めセンター方式にて集約し、ケアプランに役立てていきたい。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	○	総合的に把握する力を育てていきたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	○	本人の担当者会議への参加、家族の協力もして頂きたい。

介護センターななすぎ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	日々のカンファレンス開催を充実させるよう努力している。	○	担当者からのカンファレンス開催への努力によりチームケアをしていきたい。
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録方法の充実にはスタッフ間で話し合い努力している。情報の共有はできても実践へと活かす努力が必要である。	○	情報の共有から共感へ、そしてケアの実践へと行動が繋がり、それを介護計画へと活かしていきたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている			
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域との関わりには充分注意をし、支援の依頼もしている。	○	ボランティアの活用を充実させ、地域との交流をしていきたい。
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている			

介護センターななすぎ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している			
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医は受診容易な病院を主に考え、本人・家族との話し合いの中、了解の上十分な医療が受けられるようにしている。		
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	専門医とのチームケアに努めている。	○	専門医の数が少なく、近所に居ない事で受診を拒否する認知症の方への受診の苦勞を感じている。スムーズな受診が全ての利用者に見える様支援していきたい。
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	訪問看護を月に1～2回依頼している。	○	訪問看護の実施日までカンファレンスにより相談事項をスタッフから集約し、素早く確実に支持をもらえるようにしたい。
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	家族との話し合いを充分にし、希望も聞き入れ納得のできる入院ができるよう努力している。	○	本人、家族の希望も重要である。充分話を聞き病院と話し合い、確かな退院を受け入れていきたい。
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期の本人、家族の希望を素早く確認し、不幸にならないような選択ができるよう支援していきたいと努めている。	○	これからも一人ひとりの利用者、家族に対し充分な話し合いを確実に実施していきたい。

介護センターななすぎ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	定期受診は充実しており、かかりつけ医への関わりはしっかりできているので、支援に取り組んでいきたい。
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>		
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	○	食事の準備、掃除、イベントなどの希望。

介護センターななすぎ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ひとりひとりの生活のペースに沿って無理のないよう対応できていると思います。	○	メリハリのある生活、体調に合わせてのレクリエーションの実施をしていきたい。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	髪を染めてあげたり髪が伸びてきたら美容師さんをお願いし、施設まで来ていただいている。		
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備、片付け等、無理のないようできる事を協力して頂いている。	○	季節や旬の物など食べたい物を取り入れ、さらに楽しく食事ができるよう取組んでいきたい。
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	お酒やタバコを飲む方吸われる方がいないので、コーヒー・ココアなど好きな飲み物で楽しんで頂いています。	○	おやつを一緒に作るなどして誕生日など祝って楽しんで頂ければと思います。
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	気持ちよく排泄できるよう声かけしたりパット使用の方にも汚染状態が続かないよう清潔でいてもらえるよう支援できている。	○	パット交換時清拭をして清潔の保持を心掛けている。

介護センターななすぎ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望時に入浴を提供する場合もある。	○	希望日だけでなく時間帯の希望にも提供できるよう支援していきたい。
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	本人の意思を尊重し、無理強いをしないようにしている。	○	寝起時には無理に起こす事をせず、時を待つようにしている。本人のスタイルを尊重し、寄り添うよう支援していきたい。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	出来る事を可能な限り行っていただくよう働きかけている。	○	本人・家族からの情報収集をし、スタッフ共通のケアプランを作成し、本人の生きる意欲へと働きかけていきたい。
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	全て預かっているため本人持ちとはなっていない。	○	家族との話し合いにより、買い物ができる方は自分の物は自分で選び、購入できるようにしていきたい。
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ドライブ・買い物等、外出はしている。	○	できる限り、ドライブ・買い物・散歩など外出の機会を設けていきたい。

介護センターななすぎ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
62	<p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	○	<p>家族との話し合いの中で一緒に外出できる機会を設けたい。</p>
63	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	○	<p>字の書ける方は手紙、絵手紙、貼り絵等を書き家族に送ってあげられるよう利用者と共に行っていききたい。</p>
64	<p>○家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>	○	<p>よりリラックスできるようなスペースを作っていきたい。</p>
(4)安心と安全を支える支援			
65	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	○	<p>研修への参加をし、良いケアにつなげていきたい。</p>
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	○	<p>鍵をかけないケアを検討していきたい。</p>

介護センターななすぎ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	昼は訪室により声掛けし、行事、お茶、食事にとりびングに出てきてくださるよう働きかける。夜は静かに訪室し確認するようにしている。	○	外へも自由に出られる環境を作りながら見守りを実現させていきたい。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	個々の認知症の状況に応じて対応している。基本は物を片付けてなくすのではなくて、見守りを確実に実施している。	○	今以上に出来る事を確認し、付き添う事で危険をなくし、何でもできる体制をとっていきたい。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ケアプランの中で本人の思いと共に危険をなくすよう、計画を立て実施に努力している。	○	ケアプランを充実させていきたい。
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	スタッフの入れ替わりにより、ここでの訓練はまだ実施していない。	○	訓練実施の計画を立て全スタッフどんな場合にも対応できるように訓練していく。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている		○	今のところ全くできていないので、しっかりとした災害対策をしていかなければいけない。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	家族への報告、話し合いは気を付け確実に実施している。	○	体調も悪くなってきている方も居られる状態の中、より家族との連絡が大切になってきている。

介護センターななすぎ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	常に血圧の高い方は、毎朝血圧を測定している。入浴前には必ず検温と血圧測定を行っている。食事摂取量、水分摂取量の観察をし、チェック表の作成をしている。	○	スタッフ一同、一人ひとりの体調の変化を見落とす事なく、発見すれば情報共有し、速やかに対応していきたい。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの内服している内容を見易いよう一覧化し、最新の情報提供書をファイルに綴じている。	○	理解しきれっていない部分(副作用等)があるので、しっかりと把握していく。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便の有無を毎日利用者に確認し、分からない人についてはトイレ使用時確認。腹満の状態も観ながら適宜、摘便し主治医・訪看等と相談しカマラキソベロンの処方依頼をしている。	○	これからも、便秘の予防と対応に心掛けていきたい。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	食後の口腔ケアは支援できている。介助のいる方はスタッフが対応している。	○	なかなか口腔ケアのできない方がいる。毎食後とケアができませんが、拒否も強い為無理のないよう心掛け、毎回できるように努力していきたい。
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事毎、お茶毎に水分摂取量の確認を行っている。お茶の嫌いな人にはポカリスエット等の補助食品を提供している。食べ易く食器の工夫もしている。又、水分の摂れない方にはチェック表を使用。	○	栄養摂取や水分確保の対応をしっかりと行っていきたい。

介護センターななすぎ

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	それぞれ感染症に対してのマニュアルを作成している。	○	マニュアルをそれぞれ作成し、勉強会を行う。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食べ物、又食事が摂れなかった時の物は30分以上置かないようにしている。台所で使用する布巾・雑巾等は別々の容器でそれぞれ消毒を行っている。	○	1回/週 台所の棚・冷蔵庫等の掃除を徹底していきたい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	現在飾り物などをし、明るい雰囲気ができていると思う。	○	一年を通してできるだけ飾り物も替え、いつも明るい空間を大切にしていきたい。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	現在季節を考え、飾りつけ等でとても明るい空間ができている。	○	飾りつけすぎず、家庭の雰囲気作りを目指したい。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	現在定着できていないが、気楽に休息する場所もある。	○	定着できていない部分があるので、場所作りにも力を入れていきたい。

介護センターななすぎ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83 ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人が使っていた物を持ち込み、たくさんの物に囲まれての生活は家族の思いもあり難しいが、少しでも持ち込んだ物を活かす努力をしている。	○	家族と良い関係を築き、家族の思いも受け入れ本人が生活し易い部屋を作る支援をしていきたい。
84 ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気には心掛けている。一人ひとりの体調や状況に合わせて、温度調節している。	○	換気への配慮が足りていないので、こまめに換気のできるよう考えていきたい。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すり等を設置し、安全な移動ができる支援を準備している。	○	利用者が生活していく中で、生活し易い環境づくりに心掛けたい。
86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	自立している所は認め、見守りで混乱がないよう支援している。	○	日々変化する利用者への対応はスタッフ一同いつまでも利用者が自立して暮らせるよう考え、対応できるように心掛けたい。
87 ○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ホームが2階にある為、利用者が一人で自由に外に出ることが難しいが、本人の希望を聞き対応できるよう努力をしている。	○	外でお茶を飲んだり、広い庭を利用し更に活用できるよう努力していきたい。

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果 (該当する箇所に○をつけること)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる ○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある ○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています ○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている ○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

介護センターななすぎ

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所に○をつけること)	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="checkbox"/>	①大いに増えている
		<input checked="" type="checkbox"/>	②少しずつ増えている
		<input type="checkbox"/>	③あまり増えていない
		<input type="checkbox"/>	④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input checked="" type="checkbox"/>	①ほぼ全ての職員が
		<input type="checkbox"/>	②職員の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	③職員の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="checkbox"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="checkbox"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="checkbox"/>	①ほぼ全ての家族等が
		<input type="checkbox"/>	②家族等の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	③家族等の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

同建物内に通所の施設があるので、イベントとなると大人数での参加となり楽しんで頂ける。又、食事は厨房で作り配膳・下膳を利用者に協力して頂くという形をとっているため、食事を作るという時間帯が省け、利用者とのひとときを共に支援できる。